

本会議の今後のスケジュール(案)

- 5月17日 第1回会議
各府省庁の取組状況 等
- 6月上旬 第2回会議
有識者ヒアリング 等
- 6月下旬 第3回会議
被災地調査報告 等
- 7月上旬 第4回会議
先進地(米国)調査報告
当面の取組(各府省庁の今後の取組) 等
- 7月下旬 第5回会議
当面の対策のとりまとめ

本会議に関する今後の調査等について（案）

1. 有識者ヒアリングについて（第2回会合（予定）関連）

（1）趣旨

竜巻等突風に関する最新の研究や観測・予測技術、対策等についての知見を持つ有識者からヒアリングを行い、竜巻等突風対策の検討に資する。

（2）ヒアリング分野案

- ・ 竜巻研究の現状と課題
- ・ 観測・予測技術開発の進展
- ・ 被害軽減対策技術の開発（建物の被害軽減策等）
- ・ 住民への情報伝達・竜巻等突風に関する知識の普及・啓発 等

2. 被災地調査について（第3回会合（予定）関連）

（1）趣旨

平成24年5月6日につくば市等で発生した竜巻により実際に被害に遭われた被災者に直接話を伺い、竜巻等突風に関する事前情報提供のあり方や局地被害への対応のあり方等の竜巻等突風対策の検討に資する。

（2）被災者へのヒアリング事項の一例

- ・ 竜巻発生時、周りはどうなったか。「暗くなった」など気象変化について体感したことについて。
- ・ 竜巻等の発生の際に、どのような退避行動を取ったか。
- ・ 竜巻等の発生に関する気象情報（竜巻注意情報）を入手したかどうか。
- ・ 事前に対策をしていたか。
- ・ 被災してどのようなことに困っているか。

（3）時期

平成24年6月中旬

3. 先進地(米国)の調査について(第4回会合(予定)関連)

(1) 趣旨

竜巻等突風対策の強化・充実に向けた検討に資するよう、竜巻等突風対策の先進国である米国における観測・予報技術や住民への情報伝達・避難、普及・啓発等の最新の取組を調査する。

米国では、昨年の甚大な竜巻災害が発生して対策の改善に着手しており、この改善の検討内容、検討状況や課題を調査するとともに、最新の竜巻研究における技術的な進捗状況や近年の情報通信技術の進展を踏まえた情報伝達に係る進捗状況等を調査する。

(2) 訪問先(候補)

- 米国国土安全保障省(DHS)・国連邦緊急事態管理庁(FEMA)、米国海洋大気庁(NOAA)
…米国における昨年の甚大な竜巻被害を踏まえて検討を行っている防災対策の調査
- 地方政府(州政府、市)
…住民への情報伝達や竜巻等突風の普及・啓発に係る進捗状況等の調査
- オクラホマ大学等の研究機関
…最新の竜巻研究の調査

等

(3) 時期

平成24年6月下旬(1週間程度を予定)

○今後の調査等に係るご質問やご意見等ございましたら、以下にご連絡ください。

<問い合わせ先>

内閣府政策統括官(防災担当)付

被災者行政担当参事官補佐 富田 TEL 03-3501-5191(直通)

防災計画担当参事官付主査 桑島 TEL 03-3501-6996(直通)

災害緊急事態対処担当参事官付 河井 TEL 03-3501-5695(直通)